

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.95 消防車両等整備事業			担当課	消防本部 警防課		予算費目名	款 09	項 01	目 03
事業概要 及び目的	消防車両の更新を行い、消防力の維持を図る。	成果 目標	成果指標	車両更新台数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
			計画値	20 年度 3 台 21 年度 2 台 22 年度 2 台	予算額 (単位: 円)	232,944,000	49,500,000	146,500,000	76,300,000	
				決算額 (単位: 円)	225,886,500	44,793,000	125,553,750			
事業の 位置づけ	章 3 安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 各種消防車両を更新することにより、一定基準の消防力が維持され、各種の災害に対し迅速な処置対応が可能になり、安全で安心な暮らしができるまちづくりにつながる。	従事職員数	3	3	3				
節 1 安全で安心なまちづくりの推進	従事延べ日数		156	156	156					
項 1 防災対策の充実	民間活力の導入		現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし							
号 2 消防・救急体制の充実	相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等									
					形態は? :					

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 10 日記入				平成 22 年 5 月 28 日記入				平成 23 年 4 月 19 日記入						
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	整備	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	整備	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	整備	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご付消防ポンプ自動車の更新 (中央署・中央梯子 1) ・水槽付消防ポンプ自動車の更新 (中央署・中央 2) ・高規格救急車の更新 (南署・救急南 1) 				<ul style="list-style-type: none"> ・普通ポンプ自動車の更新 (第五分団) ・救急自動車 (高規格) の更新 (谷津分遣所・救急谷津 1) 				<ul style="list-style-type: none"> ・普通ポンプ自動車の更新 (第六分団) ・救助工作車の更新 (中央消防署・中央救助 I) 					
継続している 事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	成果指標				成果指標				成果指標					
	実績値 車両更新 台数 3 台		達成率 100%		実績値 車両更新 台数 2 台		達成率 100%		実績値 車両更新 台数 2 台		達成率 100%			

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。		平成 21 年 7 月 21 日協議実施				平成 22 年 5 月 28 日協議実施				平成 23 年 4 月 19 日協議実施			
今後の方向性	成果の方向性	拡充				○				○			
	方向性	現状維持											
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	方向性	縮小											
	方向性	休廃止											
		休廃止	縮小	現状維持	拡充	コストの方向性				休廃止	縮小	現状維持	拡充
	★上記を選択した根拠 消防車両は特殊性があり量産されない為高額となる。年度によっては更新車両台数が増える可能性もあり、総事業費も高額となる。				★上記を選択した根拠 消防車両は特殊性があり量産されない為高額となる。年度によっては更新車両台数が増える可能性もあり、総事業費も高額となる。				★上記を選択した根拠 消防車両は特殊性があり量産されない為高額となる。年度によっては更新車両台数が増える可能性もあり、総事業費も高額となる。				
方向性を実現するため実施すること (改革案)	消防車両の整備計画の見直しを検討、事業の推進には事業費が高額で困難を極めるため、補助金の確保を重要とする。				消防車両の整備計画の見直しを検討、事業の推進には事業費が高額で困難を極めるため、補助金の確保を重要とする。 消防車両売払い収入を 21 年度に充当する。				消防車両の整備計画の見直しを検討、事業の推進には事業費が高額で困難を極めるため、補助金の確保を重要とする。 消防車両売払い収入を 22 年度に充当する。				
前年度改革案の実施状況	■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ★実施以外は具体的に記載してください。				